

# 音楽堂 ano ano



## スペシャルトリオ・コンサート

《吉濱綾伽 ・ 小川佳津子 ・ トニー・ホルロイド》  
チェロ マリンバ ドラム

### 5月22日(日)

13:30開場 14:00開演

料金3,000円(ドリンク付)



#### JR大塚駅より

改札を出て南口に出て左に向かう、吉野屋を通り過ぎ信号を渡って、右へ、パチンコ屋、C D本屋を通り過ぎ、サンクスを通り過ぎ、喫茶店コロラドを左へ、同じビル1階



吉濱綾伽  
(よしはまりょうか)

東京藝術大学チェロ専攻卒業。チェロ奏者、作曲家、サン・モール インターナショナルスクール チェロ講師。堀江泰氏、松下修也、堀了介、藤原真理、木越洋、アンナー・ビルスマの各氏に師事  
元NHK交響楽団ヴァイオリニスト前澤均氏推薦！確かな技術と指導力を持つ演奏家として、現在活躍中。  
1986～ 1987 日中友好協会による音楽家訪中団に参加。北京、上海、広州でソロと室内楽の演奏で好評を得る  
1985～ 1990 フェリス女学院大学音楽学部のチェロ科講師を勤める。  
1994～ 1996 イギリスで「チャンネル・ライト・ベセル」のメンバーとしてCDを2枚発表。ロンドンでのコンサート活動を行う。並行して「アジア・ファンタジー・オーケストラ」のアジアツアーに参加。シンガポール、マレーシア、インドネシア、ベトナム、フィリピン、インドなどを訪れ、各国の音楽家たちと交流を深める。「アスカ・ストリングス」に演奏、作曲の両面で参加。他多くのアーティストをサポート。1998 横浜山手ゲート座でリサイタルを開く 002 銀座王子ホールでリサイタルを開く 2003 ジョン・海山・ネプチューン(尺八)、福原佐和子(琴)らと共にグループ「プリズム」でアルバムを発表 日本ハイドンアンサンブル首席チェロ奏者、フェリス音楽教室講師、関東学院大学管弦楽部トレーナー、エテルナルクァルテットメンバーなどを経て 2004～ 2005 イギリスへ留学、作曲と音楽療法を学ぶ 2006 帰国。再び日本で演奏、作曲、講師活動を始める。



小川佳津子  
(おがわかづこ)

マリンバソロイスト、オーケストラ打楽器奏者。東京藝術大学卒業、同大学院修了。  
打楽器・マリンバを有賀誠門、高橋美智子、塚田靖、小川雅弘、G. ピーターズの各氏に師事。在学時より国内外問わず演奏家として数々のステージに出演し、現在に至るまで多くの交響楽団、吹奏楽団においてコンチェルト共演を含め、招聘演奏を行っている。また、その卓越した演奏技術と親しみやすい人柄から演奏指導においても広く活動しており、尚美学園や洗足学園などの音楽大学・専門学校、小学校～大学・一般の吹奏楽部・吹奏楽団、各地の警察音楽隊などにて指導を行っているほか、こおろぎ社の協力のもと隔年で開催されている福井マリンバセミナーの講師を毎回務めており、これまでに多くのマリンバ奏者・打楽器奏者を送り出してきた。  
毎年夏～冬にかけて行われる吹奏楽コンクール・アンサンブルコンテストにおいて例年、審査員を多く務めるほかにも、「セブンステラ吹奏楽団」「小川佳津子&ステラ21」「アンサンブル・インタラクティブ・トキオ」「東京パーカッションシンフォネット」「埼玉打楽器合奏団」などパーカッションアンサンブルをはじめ、管楽器や弦楽器とのユニットのメンバーとしても活躍し、現在最も多忙を極める打楽器奏者のひとりである。



トニー・ホルロイド

ドラマー、ドラム講師。南アフリカ、イギリスそして日本でのドラムのレッスンの情熱を傾け、一対一やグループレッスン、ミュージック・ショップや大学でのドラムクリニックなど、様々な形態や場所での教育経験が豊富にあり、その抜群の指導力はケープタウンやロンドンにおいてプロのドラマーを輩出していることが物語っている通りです。  
1997年 ケープタウン大学卒業 1996～2001年 南アフリカのクラブやフェスティバルにおいて演奏活動を行う。また、エレクトリック・ジャズ・グループのドラマーとして活躍。ドラム教則本「ドラムの基礎」第1、2巻を執筆、出版  
2002年 南アフリカ、大手のミュージック・ショップ「ポール・ボスナー・ミュージック」にて主任ドラム教師となり後進の指導にあたる 2003年 ロック・バンド、ワンセコンド・ビフォ・アウェイクニングのブログレッシブ・アルバムを収録  
2004年 中級者、上級者むけドラム教則本「リズムの基礎」第3巻を出版 ロンドンへ移り、ハンマースミス&ウエスト・ロンドン・カレッジにおいて教鞭をとる 2005年 ロンドンのメタルバンド12トン・メソッドのメンバーとして活動、アルバムを収録 06年～ 日本へ移住し、プロ・ドラマー、ドラム講師として活動中